



温暖化に翻弄される水辺の生き物たち ～琵琶湖に迫り来る第 4 の危機～

2011/9/13 Tue 18:30～20:00

場所：京都大学サロン（時計台記念館 1F）

対 象 [本学の教職員および学生](#)

定 員 45名（先着順）
（定員になり次第締め切ります。）

参 加 費 飲みものの代として入場の際、500円を頂きます。

申込方法 下記の URL より参加のお申し込み願います。
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/clocktower/>
参加の可否については、メールにてお知らせいたします。
携帯からのお申込は、右下QRコードをご利用ください。
※QRコード読み込み後、接続前に下記アドレスが表示されているかを確認してから、
接続してください。

お問い合わせ 渉外部社会連携推進課 TEL753-2233
E-mail : kinen52@mail.adm.kyoto-u.ac.jp



奥田 昇（京大大学生態学研究センター准教授）

生物多様性国家戦略によると、地球温暖化は生物多様性の損失をもたらす第4の危機とみなされる。しかし、IPCCによる数千頁に及ぶ報告書中、淡水生態系に関する記述はたった2頁しかない。演者は、世界屈指の生物多様性を誇る琵琶湖を対象として、淡水生物の温暖化影響評価を試みた。

